

# とねまち 議会だより

あなたと議会を結ぶ広報誌



大利根暮色

写楽会 望月 和夫氏 撮影

12月定例会

No. 125  
2014.2.7

平成25年第4回議会定例会の議決等結果	2
平成25年第4回議会定例会 議案概要	3
容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進 するための法律の制定を求める意見書の採択を求める請願	5
第3回議会報告会開催のお知らせ	
町政のここが聞きたい（一般質問）	6
お知らせ	9
利根町議会日誌（平成25年10・11・12月）	10

# 平成25年第4回議会定例会の議決等結果 (町長提出議案・請願)

会 期 平成25年12月3日(火)～12月10日(火) 実質審議日数5日間  
 審議議案 町長提出議案14件(諮問含) 請願1件

件 名	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別												
		賛成	反対	石山	新井	花嶋	船川	守谷	坂本	白旗	高橋	今井	五十嵐	若泉	井原	
平成25年度利根町一般会計補正予算(第5号)の専決処分について	原案承認	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成25年度利根町一般会計補正予算(第6号)の専決処分について	原案承認	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
利根町課等設置条例の一部を改正する条例	原案可決	8	3	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	—	
		討論	反					反			反					
利根町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
利根町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
平成25年度利根町一般会計補正予算(第7号)	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
平成25年度利根町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
平成25年度利根町営霊園事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
平成25年度利根町介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
平成25年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
利根町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
布川地区コミュニティセンターの指定管理者の指定について	原案可決	6	5	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	—	
		討論							反					反		
人権擁護委員候補者の推薦について	適任	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
請願	採択	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「賛」は賛成討論、「反」は反対討論を表します。

# 平成25年 第4回議会定例会 議案概要

## 平成25年度利根町一般会計補正予算（第5号）の専決処分について ……【承認】

予算額に歳入歳出それぞれ1億5479万3千円を追加し、総額54億2084万円となりました。歳入の主なものは財政調整基金繰入金や雑入で、歳出の主なものは環境施設整備基金積立金などです。

## 平成25年度利根町一般会計補正予算（第6号）の専決処分について ……【承認】

予算額に歳入歳出それぞれ293万2千円を追加し、総額54億2377万2千円となりました。歳入は基金繰入金で、歳出は学校給食設備備品などです。

## 利根町課等設置条例の一部を改正する条例 ……【可決】

まちづくり推進課を、今後は同課を企画財政課の係として事務を継続していくため、課等の設置及び分掌事務を改めるものです。

### 反対討論 白旗議員

まちづくり推進課を廃止する本案には、次の理由で反対する。

今、町に必要な重要施策は、産業の振興、教育の振興、公共交通網の再構築、住民参加の推進などであり、全庁的、組織横断的に取り組むべき施策と考える。同課は、その核となるべき課であり、町有地利用のめどが立ったので廃止では思考が短絡的過ぎる。

### 反対討論 若泉議員

町長は、成果が上がったので推進課をなくすと言っているが、確かに一部成果が上がった事は認めるが、町は高齢化が今後ますます進み税収も毎年少なくなる。それには今後土地の利活用を今以上、より考えていかなければならない。特に利根ニュータウン前の土地、旧東文間小学校も決まっていない。今まで通りまちづくり推進課を存続し、専門の職員が積極的に出来るようにして行くべきと思う。そのような理由で私は反対する。

### 反対討論 石山議員

まちづくりの推進は、町民が参加することが重要であると考え。町民が生活に根ざしたことで、町と協働して活動したいという場合に、問い合わせる窓口として、まちづくり推進課の「まちづくり」という名前が残ってほしい。

## 利根町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 ……【可決】

年次休暇等の付与の基準となる期間を、年単位から年度単位に変更するため、関係規定を改めるものです。

## 利根町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ……【可決】

平成24年の人事院勧告を実施するため、55歳を超える職員の昇給抑制策を定めるとともに、職責に応じた役割や職務内容を明確にするため、行政職の級別職務分類表の一部を改めるものです。

## 消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例 ……【可決】

平成26年4月1日から消費税率及び地方消費税率が引上げられることに伴い、関係条例の規定を改めるものです。

**平成25年度利根町一般会計補正予算（第7号） ……【可 決】**

予算額に歳入歳出それぞれ7386万4千円を追加し、総額54億9763万6千円となりました。歳入の主なものは国庫補助金で、歳出の主なものは社会福祉扶助費や小学校施設維持補修工事費などです。

**平成25年度利根町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） ……【可 決】**

事業勘定の予算額に歳入歳出それぞれ168万円を追加し、総額24億7136万7千円となりました。歳入は繰入金で、歳出は出産育児一時金です。

**平成25年度利根町営霊園事業特別会計補正予算（第2号） ……【可 決】**

債務負担行為の町営霊園環境整備業務委託382万4千円の増額です。

**平成25年度利根町介護保険特別会計補正予算（第2号） ……【可 決】**

予算額に歳入歳出それぞれ145万2千円を追加し、総額12億8045万3千円となりました。歳入は介護給付費負担金と繰入金で、歳出は介護予防住宅改修費などです。

**平成25年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） ……【可 決】**

予算額に歳入歳出それぞれ827万5千円を追加し、総額3億1761万7千円となりました。歳入は繰入金と負担金過年度精算金で、歳出は一般会計繰出金などです。

**利根町固定資産評価審査委員会委員の選任について ……【同 意】**

利根町固定資産評価審査委員会を任命するものです。

**布川地区コミュニティセンターの指定管理者の指定について ……【可 決】**

布川地区コミュニティセンターを、指定管理者による管理を行わせるものです。

**反対討論 若泉議員**

なぜ総合建設サービス株式会社を選定したのか納得できない。シルバー人材センターや通称利根研も申請している。しかし、選定委員会では町外取手市の業者に決めたが、3業者に対しよく検討したのか私達には分からない。総務課長の答弁は、経験があり、コミュニティセンターは老朽化でいつ壊れるか分からない、すぐ対応出来ると言っているが、これは別な事、地元で出来る事は地元の業者をお願いするのが妥当と思う。そのような考えで私は反対する。

**反対討論 白旗議員**

上記議案には、次の理由で反対する。

①指定管理者選定基準が不適切なこと。②指定管理者選定手続きが不適切なこと。③他市業者の選定は「住民参加の町づくり」の町の方針に反すること。④地区コミュニティの形成と文化振興には、町内の候補団体がより適切であること。

**人権擁護委員候補者の推薦について ……【適 任】**

人権擁護委員候補者を推薦するものです。

## 容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書の採択を求める請願

請願者 石井 敏子・中島 明子・岩瀬 絹子 他  
紹介議員 新井 邦弘・花嶋美清雄・坂本 啓次  
守谷 貞明・今井 利和・石山 肖子

次のことについて、意見書の提出を求めるもの。

- ・容器包装の拡大生産者責任を強化し、リサイクルの社会的コストを低減するため、分別収集・選別保管の費用について製品価格への内部化を進めること。
- ・レジ袋使用量を大幅に削減するため、エコバック使用の推進を地域に啓発していくこと。
- ・リユースを普及するために、学校教育の現場において2Rの環境教育を強化し、未来の環境問題に向けて、地域全体での取り組みを目指していくこと。

請願は、厚生文教常任委員会へ付託された。厚生文教常任委員会で慎重に審査され、12月10日の本会議で委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があり、賛成全員により採択となった。

人事

案件

### 固定資産評価審査委員会委員

住所 利根町大字惣新田1762番地  
氏名 鈴木 智恵子  
任期 平成26年1月1日から3年間

### 人権擁護委員(諮問)

住所 利根町大字羽根野900番地31  
氏名 古田 吉光  
任期 平成26年4月1日から3年間

## 第3回議会報告会 開催のお知らせ

利根町議会では、議会の活動を町民の皆様にお知らせし、町民に開かれた議会づくりを目指しております。

その一環として、町民の声を町政に反映し、「誰もが安心して豊かに生活できる元気なまち」づくりを進めるため、第3回議会報告会を開催します。

どなたでも参加できますので、皆様のご来場をお待ちしております。

- ◆日時 4月19日(土) 午後1時30分～
- ◆場所 利根町公民館 1階多目的ホール

**問** 町が目指す土地利用における将来像は

**答** 第4次利根町総合振興計画に基づき推進 **船川京子議員**

**問** 町防災行政無線の補完として、電話をすれば町からの情報を繰り返し確認できる音声自動応答サービスおよび町からの情報が、ご家庭で聞くことができるラジオのような戸別受信機などがある。安心・安全の町づくりにおける情報管理システムにおいて、どちらもその大きな一助となると考えられるが、導入に対する町の見解を伺う。

**答** 音声自動応答サービスについては、予算との兼ね合いもあるが、検討は必要であると考えている。戸別受信機の導入に対しては、平成34年のデジタル無線機方式への移行時に合わせ、国の補助金等の動向も見据えた上で検討していきたい。

**問** 現在、町では救命救急機器導入事業として19台のAEDを公共施設や小中学校に設置し、救急救命に役立つ環境を整

えている。また町職員及び学校教職員の方たちは、AED使用における救命講習を定期的に受講し、いざという時のために対応体制が整えられている。しかし公共施設などの閉館時間においては改善の余地があるとする。早朝や深夜のAED使用可能に向け、24時間営業のコンビニエンスストアなどに、設置協力を依頼する自治体も増えているが、AED設置箇所及び使用可能時間の拡大に向け、町はどのように考えるのか伺う。

**答** AEDについては24時間、どこでも、誰でも利用できる環境が最も望ましく、24時間営業の店舗にご協力いただくことがより有効であろうと考える。しかし町としては現場における状況や体制などもう少し時間をかけ、様々な方面から検討をしていきたいと考えている。

**問** 遠山町長、今後の町政に支障はないのか

**答** 現在、何ら支障はない

**若泉昌寿議員**

**問** 7月の町長選挙では、遠山陣営から選挙違反で逮捕者まで出た今までにない選挙戦だった。遠山町長が当選し4ヶ月が過ぎている。今後、町長として利根町を任せなければならないが、支障はないか伺ったが、行政には直接関係ないので答弁してくれない。町民からあまり信頼がない、町長選挙が行われるのは3年と6ヶ月先の事、このまま任せるのは不安を感じる。

**答** 現在、何ら支障はない。

**問** 台風26号により、また利根ニュータウン東側で冠水被害が出た。これを解消するには、現在、県で工事を行っている新利根川の調節池完成が不可欠、完成はいつ。

**答** この度の台風26号による利根ニュータウン東側、その他にも冠水の被害が出た。現在、新利根川で工事が行われてい

る調節池が完成されても、下流と上流の高低差がないので、全て解消するのは難しい。

**問** 町は、各小中学校に対し通学路を指定している。子供達が安全で安心して通学出来るよう、1日も早く通学路を完成させなければならない。現在、計画されている112号線は5年先の完成予定。取手東線地先、布川2828の5番地の件については、公売により持主が代わった。町は工事事務所と話し合って歩道を拡幅すべき。また町道2273号線の拡幅については、相手が話し合いをしてくれないと言う事で何もしない。町はやる気がない。

**答** 112号線については、5ヶ年計画で進めて行く。町道2828の5番地前の歩道については工事事務所と話し合う。町道2273号線の拡幅については、地権者の方が話し合いをしてくれない。

**問** 予算は明確な計画の基に組むべきでは

**答** 基本的にそう思っている

**問** 予算編成は、事業の目的や方法、達成目標、達成度の測定法などを計画した上で行うべきだが、そのようには見えない。今後編成方法を改善すべきでないか。

**答** 基本的には民間の考えを取入れるべきと思っている。ただ行政は住民のサービス機関だから企業感覚では運営できない。

**問** 民間と行政が違うのは十分わかっている。しかし、地方自治法でも最小の経費で最大の効果を上げるように求めている。その努力が不足でないか。

次の質問に移りたい。町長は、7月の町長選挙の公約で放課後子ども教室を無料で行うとしているが、なぜ無料なのかを伺う。

**答** 現在実施中の文小学校に加え、文間小と布川小の2校でも行いたいと考えている。放課後子ども教室の開始当時、平成

**問** 農政の大転換を迎え対策は

**答** 規模拡大や担い手育成を支援し克服

**問** 環太平洋経済連携協定（TPP）の年内妥結に向け、農業分野で厳しい交渉を強いられ、激しいやり取りがされています。交渉状況を注視しながら、2014年度から農業の大転換が図られようとしています。

1970年代に導入以来、約40年に及ぶ減反は、米価維持に一定の効果があった反面、自由に米を作れない生産抑制政策で生産意欲をそぐ政策でもあります。

生産調整（減反）を2018年に廃止とし、補助金の見直しが示されるなど、唐突な報道がされています。農業政策の大綱として、米の生産調整、定額補助金、米価変動補填交付金、飼料米や麦などへの補助金の見直し、新たな日本型直接支払制度の創設などを発表、農業経営者は修練する時間もなく、戸惑と混乱を来しています。

町の基幹産業である農業を持続的に発展させる方策をお伺いいたします。

**白旗 修議員**

19年には月7千円（指導料として5千円、おやつ代として2千円）を徴収していたが、参加者が年々減り、他の市町村もほとんどが無料なので、利根町もこれに倣った。

**問** 教室を存続させるために無料にしたというが、それでは目的がすり変わっているのではないか。教育の内容が良ければ、有料でも子どもが来るのではないか。

**答** 当時は放課後子ども教室の児童が大幅に減ったのでこのような措置をとった。

**問** しかし、日中留守家庭の児童の見守りに月5千円、夏休みは月8千円を徴収している。見守りに5千円取って付加価値の高い指導は無料とは全く理解に苦しむ。教育委員会は一体どう考えているのか。

**答** 町長の了解を得ていることだ。

**五十嵐 辰雄議員**

**答** 最近の農業政策を取り巻く現状を見ますと、環太平洋経済連携協定交渉が大詰めを迎え、年内妥結の目標で交渉の正念場を迎えています。約半世紀続いた生産調整も大きな転換期を訪れようとし、来年度からの経営所得安定対策交付金のうち、米の直接支払交付金の単価を削減したうえで、平成29年度で廃止と決定しました。

儲かる農業を実現するために、高付加価値化、販売量の増大、コスト縮減等に努め消費者に評価される農産物の生産に力を入れます。

基盤整備済みの地区は、更にコスト縮減を図るため、農地集積を進める手段として、農業生産法人を中心として話し合いを進めます。担い手育成については、集落営農の組織化や法人化の普及啓発に努め、規模拡大志向農家等に対し農地の貸し借りによる経営規模拡大を支援します。

**問** 少子化対策について

**答** 全国的な課題であり難しい

守谷 貞明 議員

**問** 以前、町長が認められたように、利根町の現状は大変厳しい。

1. 人口減少の恒常化 2. 高齢化の進行 3. 少子化 4. 上記1・2に伴う町民税の減収（昨年約5000万円）今年度も同額かそれ以上の減収が予測されます。つまり、利根町は4重苦という大変重いハンディキャップを背負っています。この4重苦を克服することが、利根町活性化のキーだと思いますが、町長はどのような対応策をお考えですか。

**答** 人口減少対策としては、生産労働人口を増やせば子供も増える。その為に、空き家バンク制度や子育て支援（第2子50万円、第3子100万円等）を充実させている。また、高齢化については、フリフリグッパ、シルバーリハビリ体操等を導入し元気老人を増やすことで、財政負担を減らす方向で努力している。

**問** 教職員定期人事異動について

**答** 利根町を希望する教職員は多い

花嶋 美清雄 議員

**問** 教職員の人材起用には、子供たちの未来にも影響があると考えます。どのような方針で選定しているのか、また、教職員の方々に、利根町を希望してもらうための長所が利根町にあるのか伺います。

**答** 教育は人なりといいますが、人事配置はとても重要であります。人事異動については、各市町村教育委員会の内申により、県教育委員会が行うことになるため、当町の異動方針も県教育委員会の異動方針と同じになります。

内申までには、調書の送付や面談などがあり、利根町に希望される教職員についての経歴や異動の理由、希望内容など詳細に把握し、他の教育委員会と同時にお互い交換しあう作業になります。定数が決められていますので、希望どおりにならないところもありますが、その中で、温かい町民の雰囲気や、温かい給食などから、当町の学

**問** 若い子育て世代を誘致したい。とのお答えでした。私も、以前から同じ考えでした。しかしその為には、首都圏で子育て中の世代にターゲットを絞り、利根町の充実した子育て支援と居住環境・自然環境の優れた点を大々的に宣伝する必要があります。例えば、首都圏での家賃の半額以下で、50坪以上の庭つき一戸建の新築又は中古住宅がローンで購入できる。但し通勤には30分余計に掛るが、水と緑と光溢れた自然がある。これらをセットで宣伝する必要があるが、お考えは。

**答** これまで全国的にはやっておりません。しかし、房総の方から来た方もおります。今後、空き家バンクを中心に色々な施策を展開しようと検討してまいります。

校を希望する教職員は大変多く、人事はしやすいと思っております。

**問** 将来の子供たちのために、小中学校で薬物乱用を防止するための事業を行っているのか伺います。

**答** 小学6年生の保健の授業で、喫煙や飲酒の害と健康、薬物乱用の害と健康について約4時間ほど学習させております。

特に薬物乱用については、養護教諭と担任のチームティーチングにより、具体的な教具を使用して授業を実施しているほか、6年生児童と保護者を対象に茨城県警のフレンド号という広報車をお願いして、薬物乱用防止教室も行なっております。

また、中学生においても薬物乱用について、授業の中で薬物乱用の害と健康を扱っています。



**問** 防災計画への地域住民の関わりは

**答** パブリックコメントで住民全体が関わる **石山 肖子 議員**

**問** 利根町の地域防災計画の被害想定に、原子力災害は入っているか。

**答** 今回の地域防災計画には、原子力災害等について盛り込んでいないが、防災会議の中で対応を検討していきたい。

**問** 地域防災計画策定には地域住民がどのように関わっているか。

**答** 防災会議の委員として、区長会長及び2自治防災組織の方、各1名が関わっている。パブリックコメントにおいては、全ての住民が関わることになる。

**問** 防災時要援護者の台帳作成の進捗は。防災行政無線の改善策は。

**答** 災害時要援護者名簿は、現在、手上げ方式で台帳を作っている。個人情報と

いう壁はあるが、いざ災害という時は協力者・関係機関等に提供する。

防災行政無線の補完として、音声自動応答サービスを検討している。防災無線の聞き取りやすさのアンケートは、利根町では実施していない。

**問** 小中学校図書館システム導入の進捗と今後の方針について。

**答** 布川小学校は、パソコンでの蔵書管理・貸し出しが出来るようになっている。今後は、文小学校、文間小学校、利根中学校に整備していく。文小学校では、教職員が主体で、新しい本にラベル貼り等を行った。登録作業に必要な人員の手当は、学校から予算要望がないので計上していないが、教育ボランティア費用を例年どおり予算要求する予定である。

## お知らせ

### 町議会を傍聴しましょう！

議会は町政の一端を知る絶好の場です。町政の実態を知るために、また、住民の皆様が選んだ議員が何を今どのように質疑し、審議をしているかを知るためにも、ぜひ議会の傍聴にお出かけください。

今回、12月定例議会の傍聴者は延べ86名でした。

次回の定例議会は3月4日（火）から開催予定です。傍聴の予約は不要です。

### 町議会の詳細は議会会議録で！

この「議会だより」は、町議会で行われた議論等の内容を要約してお知らせしております。もっと詳しく知りたい方は、「利根町議会会議録」をご利用ください。

議会会議録は、町立図書館と役場1階エレベーター前の資料閲覧コーナーにあります。

利根町ホームページ (<http://www.town.tone.ibaraki.jp/>) でも見られます。

# 利根町議会日誌

(平成25年10・11・12月)

平成25年12月31日現在

月	日	曜日	活動内容
10	3	木	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会行財政視察研修（4日まで）
	9	水	龍ヶ崎地方衛生組合議会視察研修（10日まで）
	10	木	広報編集委員会
	13	日	第42回利根町民運動会
	17	木	全員協議会
	21	月	利根町障害者団体連絡会との議員懇談会
	23	水	利根町小・中学校音楽を楽しむ会
	24	木	県南町村議会議長会
	25	金	全員協議会
	27	日	第30回利根町テニス大会
28	月	平成25年第2回龍ヶ崎地方衛生組合議会定例会	
11	3	日	第29回利根町文化祭
	〃	〃	第6回利根町地場産業フェスティバル
	5	火	国民健康保険運営協議会
	6	水	平成25年第2回稲敷地方広域市町村圏事務組合議会定例会
	7	木	茨城県南水道企業団視察研修（8日まで）
	10	日	第30回利根町長杯争奪バレーボール大会
	11	月	第27回国保カップゲートボール大会
	〃	〃	平成25年第2回龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会定例会
	12	火	平成25年度県南町村議会議員大会
	13	水	第57回町村議会議長全国大会
	15	金	平成25年度利根町老人大学
	19	火	平成25年度第1回利根町防災会議
	21	木	全員協議会
	26	火	議会運営委員会
	28	木	常磐線東京駅乗り入れ促進大会
	〃	〃	平成25年度利根町建設業協会通常総会
12	3	火	平成25年第4回定例議会（10日まで）
	19	木	総務産業建設常任委員会

発行／利根町議会・議会広報編集委員会

〒300-1696 茨城県北相馬郡利根町布川841-1

T E L 0297-68-2211 F A X 0297-68-7990

発行責任者／利根町議会議長 井原 正光

編集担当／若泉 昌寿・高橋 一男